

データ通信専用通信モジュール 取扱説明書

ドコモ W-CDMA方式

このたびは「データ通信専用通信モジュール」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みください。正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。データ通信専用通信モジュールは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、未長らく愛用ください。

- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中で電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご利用になりません。なお、電波が強い場所で移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなどして送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なる内容となって受信される場合があります。
- 本端末の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご利用になりません。The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- 本端末では、iモード機能（iモードメール、iモードサイト（番組）の接続、iアプリなど）には対応しておりません。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」はNTTドコモの商標または登録商標です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

本端末、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

- 火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。**
火災、やけど、けがの原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高压容器に入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
- 分解、改造をしないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
- 水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

- 強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
- USBコネクタに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
- 使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどの原因となります。
- ガソリンスタンド以外の引火性ガスが発生する恐れのある場所に、本端末を持ち込まないでください。**
ガスに引火する恐れがあります。
- 給油中は、必ずエンジンを切るが、本端末を接続しているカーナビゲーションの電源を切ってください。**
ガスに引火する恐れがあります。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**
落下して、けがの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。
- 使用可能範囲の温度であっても、炎天下や寒冷地に駐車していた場合など、本端末が極端に高温・低温になるときは触れないでください。**
やけど、凍傷の原因となります。
- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかを確認ください。**
けがなどの原因となります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末の取り扱いについて

警告

- 本端末内のドコモUIMカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末をUSBポートから抜いてください。**
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意ください。電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。

注意

- 本端末が破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。**
異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について⇒別表「材質一覧」

<材質一覧>

使用箇所	材質/表面処理
外装ケース（フロント部）	PC LUPLOY GP1000SW (K0620T)
外装ケース（リア部）	PC LUPLOY SC1004A (KPA1)
USB端子保護キャップ	PC LUPLOY SC1004ML (R0050P)
USBデレコーション部	PC LUPLOY SC1004ML (R0050P)
リアカバー	PC LUPLOY SC1004A (KPA1)
USBコネクタブラケット	SPCC

ドコモUIMカードの取り扱いについて

注意

- ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。**
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

- 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水をかけないでください。
本端末、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気が多い場所での保管や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外です。修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基板などの破損、故障の原因となります。

本端末について

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は-10℃～45℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
極端な高温、低温は避けてください。
故障、破損の原因となります。
- カーナビゲーションにUSBコネクタを接続する際に斜めに差したり、差し込んだ状態で引っこ抜いたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 極端な高温・低温・多湿になるような環境に放置しないでください。
特に車中でのようなことが想定される場合は、製品を車内に放置しないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- ご使用にならないときは、端子が汚れないようにUSB端子保護キャップをはめて保管してください。
端子が汚れていると接触状態が悪くなる場合があります。
- 保管する際は、水濡れや高温の場所での保管や、無理な力が加わらないようご注意ください。
変形、変色の原因となります。

ドコモUIMカードについて

- ドコモUIMカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはお買い上げになった販売店などにお持ちください。
- ICを傷つけない、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

注意

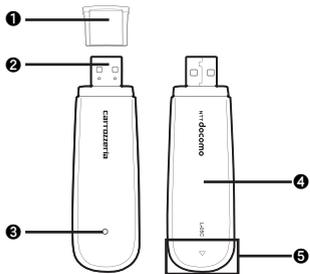
- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技術マーク」が本端末の銘版シールに表示されています。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

本体付属品

- データ通信専用通信モジュール本体 (リアカバーL22、USB端子保護キャップ含む)
- データ通信専用通信モジュール取扱説明書



各部の名称と機能



- ① USB端子保護キャップ**
保管や持ち運びの際に、USBコネクタを保護します。
- ② USBコネクタ**
カーナビゲーションとの接続端子です。
- ③ 通信状態表示ランプ**
本端末の状態などを表示します。
- ④ リアカバー**
リアカバーを取り付ける部分をリア部と呼びます。
- ⑤ アンテナ部**
アンテナは、本体に内蔵されています。

ランプ表示について

本端末の状態	通信状態表示ランプ	
電源ON	黄色	
通信中	W-CDMA(3G)	緑
	HSDPA	青
	HSUPA	紫
	パケット通信接続開始時	水色 (点滅)
	パケット通信中	水色
圏外	黄色	
PINロック	黄色 (点滅)	

ドコモUIMカードを使う

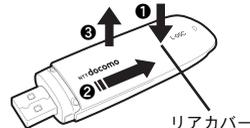
ドコモUIMカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、本端末に取り付けないと、データ通信などを利用できません。

取り付けかた／取り外しかた

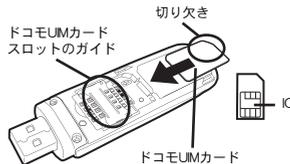
- カーナビゲーションに本端末が接続されている状態で、ドコモUIMカードの取り付けまたは取り外しをしないでください。故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを取り付けまたは取り外しをするときは、両手で持って行ってください。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けようとして、取り外そうとすると、ドコモUIMカードが破損する場合があります。

取り付けかた

- リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外す



- ドコモUIMカードのIC面を下にして、矢印の方向にドコモUIMカードスロットのガイドの下に差し込む



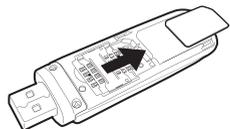
- リアカバーを本端末の端から約1~2mmずらした状態で本端末の溝に合わせ、①の方向に押し付けながら②の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む



取り外しかた

取り外したドコモUIMカードはなくさないようにご注意ください。

- 取り付けかたの操作1を行う
- ドコモUIMカードを矢印の方向にスライドさせて取り外す



- 取り付けかたの操作3を行う

主な仕様

- 対応OS**
Windows CE6.0R3日本語版
- 通信速度**
パケット通信：
受信最大7.2Mbps (ベストエフォート方式)
送信最大5.7Mbps (ベストエフォート方式)
※ 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
※ 送信時最大5.7Mbpsの対応エリアの詳細についてはドコモのホームページ (<http://www.nttdocomo.co.jp/>) をご確認ください。
※ FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
※ FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- 環境条件**
動作時温度：-10℃~45℃
動作時湿度：45%~85%
- 電源**
電源電圧
DC5V±5% (カーナビゲーションより給電)
消費電流
通信時最大消費電流：約500mA 以下
通信時平均消費電流：約280mA 以下
待ち受け時平均消費電流：約100mA 以下
※ 使用状況により、消費電流は変動します。
- 形状**
USB型
- サイズ**
高さ：約87mm
幅：約27mm
厚さ：約10.9mm
- JATE認証番号**
AD10-0299001
- 質量**
約25g

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

European Union Directives Conformance Statement

- CE Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:
- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
 - All other relevant EU Directives

CE0168 The above gives an example of a typical Product Approval Number.

FCC Regulations

Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, it can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Class B Compliance

This device and its accessories comply with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:
• This device & its accessories may not cause harmful interference.
• This device & its accessories must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Body-worn Operation

This device has been tested for typical body-worn operations with the distance of 0.19inches (0.5cm) from the user's body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.19inches(0.5cm) must be maintained from the user's body.

Consumer Information on SAR (Specific Absorption Rate)

THIS DEVICE MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES. Your wireless device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

※ Tests for SAR are conducted using standard operating positions specified by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.

Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this device when worn on the body is 0.85W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID BEJL05C. Additional information about Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Association (CTIA) web-site at <http://www.ctia.org/>.

ご相談窓口のご案内

パソコン製品の修理、お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お問い合わせの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口●商品の購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

●カーオーディオ/カーナビゲーション商品

電話：【TEL】0120-944-1111 【一般電話】044-572-8101 FAX：044-572-8103

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

●カーナビゲーションのネットワーク接続（携帯電話、Bluetooth接続は除く）

電話：【TEL】0120-702-383 【一般電話】044-572-8070 FAX：044-572-8103

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 LG Electronics Inc.